

# 《男女共同参画啓発パネル》

<p><b>男女共同参画社会実現のために</b></p> <p>男女共同参画社会実現のために</p> <p><b>「思い込み」ありませんか？</b></p> <p><b>いろんな立場で考えてみよう!</b></p> <p>私たちの生活の様々な場面には、当たり前だと思っていたことが性別や意見につながっていることがあります。女性や男性、子どもなどちょっと立場を変えて考えてみましょう。みなさんがより自分らしく生きやすい社会になるヒントがあるはずです。</p> <p><b>ひとくちメモ</b></p> <p>男女共同参画社会とは「性別や年齢や障害の有無を問わず、誰もが活躍できる社会のこと」をいいます。性別や年齢や障害の有無を問わず、誰もが活躍できる社会のことです。性別や年齢や障害の有無を問わず、誰もが活躍できる社会のことです。</p> <p>男女共同参画社会実現のために</p>	<p><b>家庭で（性別役割分担意識）</b></p> <p>性別役割分担意識</p> <p><b>家事・育児は女性がするもの？</b></p> <p>夫婦の生活時間を比較してみると、女性が家事・育児に費やす時間が圧倒的に多く、それは共働き家庭であっても同様です。男性と女性、性別に関わらず、家事・育児は家族みんなで分担して、協力し合えば、早く片付き、家族みんなの時間も増えるのではないでしょうか？</p> <p><b>家事はみんなで分担して、スピードもアップ</b></p> <p>夫婦共働きで家事が滞ってしまったり、「女性は家事」という意識がまだ残っていると、女性にだけ家事の負担が集中してしまったり、女性本人も家事は自分の責任だと感じ、負担が大きいと感じることがあります。家事は家族みんなで分担して、協力し合えば、早く片付き、家族みんなの時間も増えるのではないでしょうか？</p> <p>男女共同参画社会実現のために</p>	<p><b>家庭で（男だから女だから）</b></p> <p>男だから女だから</p> <p><b>同じようにやっているのどうして？</b></p> <p>同じようにやっても、「男だから」「女だから」という理由で一方だけが褒められたり、一方だけが怒られたり……。大人が男性や女性のあるべき姿を無意識に固定化してしまったり、子どもたちにそれを示してしまうことがあります。性別によって行動範囲や思考範囲を固定することによって、子どもたちはどう思うでしょう？</p> <p><b>一人ひとりの良さを大切にしよう</b></p> <p>性別によって分けられてしまう事例を日常で繰り返し体験することは、当然なこととして子どもたちに影響を及ぼし、子どもたちが性別によって自らの行動や考え方を抑制してしまうことにつながってしまうかもしれません。未来を担う子どもたちの可能性は無限に広がっています。「男だから」「女だから」と決めつけず、一人ひとりの良さを認め、個性を伸ばしていきたいです。</p> <p>男女共同参画社会実現のために</p>	<p><b>地域で（地域づくり）</b></p> <p>地域づくり</p> <p><b>安全・安心なまちづくりは男性の役目？</b></p> <p>地域の防災・防犯活動は誰が担うべきでしょうか？もし、あなたの地域で地震災害が発生したら、初期消火や災害被害の救出、避難誘導は誰が行うことになるでしょうか？</p> <p><b>地域を守るのはみんなの責任</b></p> <p>女性の消防団員も徐々に増えてきましたが、その割合は依然として低い状況です。災害に際して対応するだけでなく、高齢者や地域社会に対する火災予防活動など、日ごろからの地域とのつながりが重要な役割もあり、女性消防団員に期待される場面は多くあります。地域防災の強い手として男女ともに活躍できるよう取り組んでいきましょう。</p> <p>男女共同参画社会実現のために</p>	<p><b>地域で（女性の登用）</b></p> <p>女性の登用</p> <p><b>普段の活動はお母さんだけ、会長はお父さん？</b></p> <p>学校のPTA活動や授業参観には母親の参加が多いにもかかわらず、PTA会長になるのは男性が多いようです。子どもの教育には大人の役割行動が重要といわれますが、子どもたちの目にはどう映っているのでしょうか？</p> <p><b>女性の登用を促進しましょう</b></p> <p>最近では女子生徒がリーダーシップを発揮して生徒会長に選ばれる学校も多くなると、子どもたちが男女共同参画を学んでいると実感できるかもしれません。「男の子はリーダーシップを発揮して生徒会長に選ばれる学校も多くなると、子どもたちが男女共同参画を学んでいると実感できるかもしれません。」ことが自然に実現できる。このような子どもたちの役割を大人も見習っていかねばなりません。</p> <p>男女共同参画社会実現のために</p>
<p><b>地域で（施策・方針決定過程への参画）</b></p> <p>施策・方針決定過程への参画</p> <p><b>みんなの視点入ってる？</b></p> <p>私たちの住んでいる地域のあり方を考える時、男性中心の話し合いで物事が決まっているということはありませんか？女性の考えや意見は聞かなくていいのでしょうか？</p> <p><b>男女の視点で魅力ある地域づくり</b></p> <p>人口の約半分は女性にかかわらず、自治会の役員は男性という状況です。あなたの地域はどうですか？住みよい地域づくりのために、女性も積極的に意見を伝えていきましょう。そのためには女性が自由に意見を言い合える環境づくりも大切です。女性の参画で、これまで気づかなかった視点や新しいアイデアが出て、地域の活性化や暮らしの改善につながるはずです。</p> <p>男女共同参画社会実現のために</p>	<p><b>職場で（ポジティブ・アクション）</b></p> <p>ポジティブ・アクション</p> <p><b>活躍できないのは女性本人の問題？</b></p> <p>働く女性は増加し、勤続年数も伸びており、女性の社会参画は確実に進んでいます。しかし女性の管理職や、方針の立案や決定の権限に女性はまだまだ少ない状況です。「男女平等の制度があることだし、活躍の場が少ないのは女性本人の問題」と思いませんか？</p> <p><b>誰もが能力を発揮できる職場づくり</b></p> <p>能力を持った女性が十分に力を発揮できる機会がない状況は、会社にとっても大きな損失だと思いますか？男女雇用機会均等法では、男女労働者の差別取扱いを禁止していますが、現実には経歴・出身を理由とした不当な扱いや人材の配属、異動、昇進など、男女格差が多く見られます。経済産業省男女共同参画推進部の報告では「女性登用で会社は伸びる」女性を活用する企業は業績が上がる」という結果が出ています。男女がそれぞれの能力に即した待遇を受けられることができる職場環境を整えていきましょう。</p> <p>男女共同参画社会実現のために</p>	<p><b>職場で（ワーク・ライフ・バランス）</b></p> <p>ワーク・ライフ・バランス</p> <p><b>男性は仕事中心の生活でも仕方ない？</b></p> <p>「男性が女性や子どもを育てる」「男性が家庭の経済的責任を負う」このようなことが当然かという意識がありませんか？このような意識から男性の仕事に過度な負担がかり、家庭生活を犠牲にした働き方になり、過労死や自殺死に事の上昇という負の側面も生み出しているのかもしれない。</p> <p><b>男性だって仕事も家庭生活も充実させたい!</b></p> <p>働き方をちょっと見直してみませんか？家庭生活や地域活動に参画する時間が生まれ、新たな楽しみや生きがいの発見があるかもしれません。また、働き方の見直しには企業による取り組み・協力が不可欠です。企業にとって「コスト」としてではなく、「明日への投資」として積極的にとらえ、一緒に取り組んでいきましょう。ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)がこれからの社会のキーワードです。</p> <p>男女共同参画社会実現のために</p>	<p><b>職場で（進路選択）</b></p> <p>進路選択</p> <p><b>女性は文系、男性は理系？</b></p> <p>理系、男性の理工系研究者や職業者は多くいますが、女性が少ないのが現状です。理工系に進む女子学生が少ないことを、何となく当たり前のようになっているのかもしれない。女性も理工系に向いていないのでしょうか？</p> <p><b>女の子だって理科が好き!</b></p> <p>OECD経済協力開発機構の学習到達度試験など国際的な調査では、日本の男女について、数学と科学ではほとんど差がないという結果が出ています。親の期待や親子の持つ職業のイメージ、学習の過程に、性別による固定的なイメージが影響していることもあるのかもしれない。能力や適性を十分に発揮できるように、娘さんが何かに挑戦しようとする時、お父さんや友人が将来の夢について悩んでいる時、ほんの少しこのことを意識してみましょう。</p> <p>男女共同参画社会実現のために</p>	